

2019年復興・減災フォーラム

「東北」から未災地への伝言

—— 南海トラフ地震に備えて ——

シンポジウム

日程 2019年 **1月13日**(日) 13:00~17:30

場所 関西学院会館レセプションホール(兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155)

PROGRAM プログラム

(敬称略)

13:00~13:10	開会挨拶 田淵 結 (関西学院 院長)
13:10~14:10	基調講演 「東日本大震災の経験・教訓と次への災害の備え—忘却との闘い」 今村 文彦 (東北大学災害科学国際研究所 所長・津波工学教授)
14:10~15:00	特別講演 「進化する『とくしまー0 (ゼロ) 作戦』の推進について」 飯泉 嘉門 (徳島県知事)
(小 憩)	
15:10~17:25	パネル討論 「津波被災地の再興を考える」 東日本大震災から8年を迎え、津波被災地はなお復興の途上にあるなかで、新たな街並みに賑わいが生まれている地域もあります。そうした東北の被災地で培った復興の体験や知恵を、近い将来発生が予想されている南海トラフ地震の想定被災地にどのように繋いでいくのか。高台まちづくりで地域の再建に取り組んだ宮城県東松島市、南海トラフ地震に備えて「事前復興」に取り組む和歌山県串本町を舞台に、津波被災地の再興の手立てと課題について考えます。 ■趣旨説明 野呂 雅之(関西学院大学災害復興制度研究所 主任研究員・教授) ■パネリスト(五十音順) 阿部 秀保 (前東松島市市長) 古関 良行 (河北新報論説委員) 近藤 民代 (神戸大学大学院工学研究科 准教授) 田嶋 勝正 (串本町町長) ■コーディネーター 室崎 益輝(兵庫県立大学減災復興政策研究科 研究科長) ■コメンテーター 今村 文彦(東北大学災害科学国際研究所 所長・津波工学教授)
17:25~17:30	閉会挨拶 長岡 徹 (関西学院大学災害復興制度研究所 所長・法学部教授)